

日本におけるデジタル化の状況

G4M3042024 片野 翔太

2025 年 6 月 30 日

1 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [1] によると, 図 1 に示すように, 日本における 100 人あたりのモバイルブロードバンドの加入者は 190.5 で, 第 1 位になっている. 2 位はエストニアで, 3 位米国と続く.

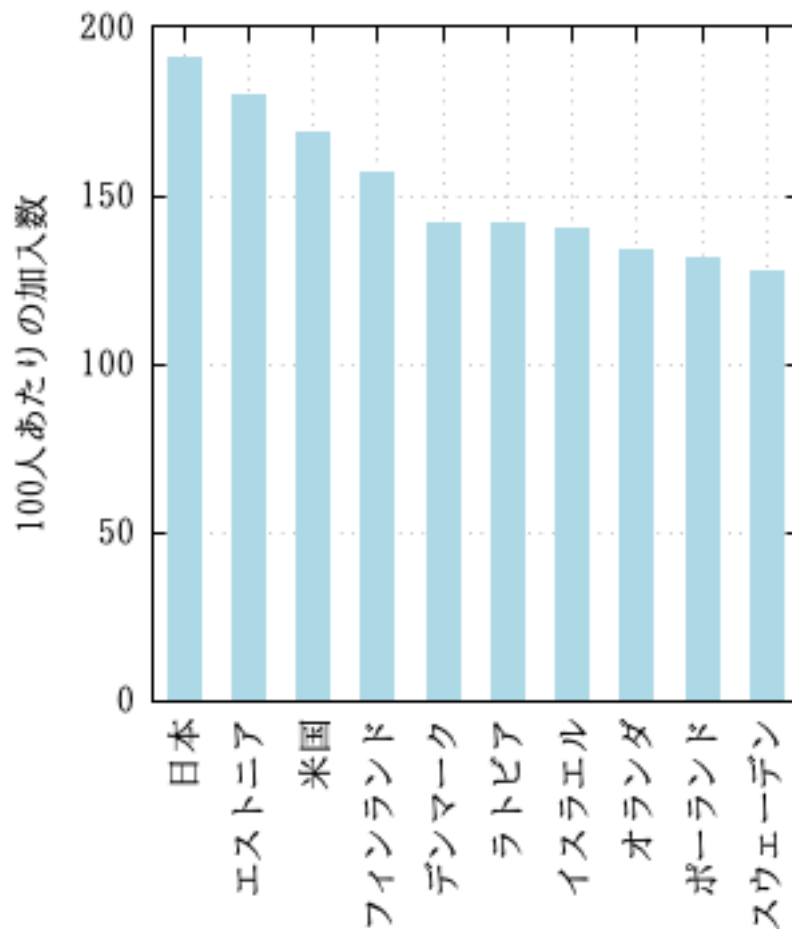


図 1: 光ファイバー回線の加入者数 (100 人あたり)

2 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所 (IMD) の調査 [2] によると, 日本のデジタル競争力のランキングは表 1 に示すように, 調査対象の 64 ヶ国中, 総合で 28 位, 技術分野で 30 位となっている。

表 1: デジタル競争力ランキング (64 ヶ国中)

国	総合	技術
米国	1 位	4 位
香港	2 位	10 位
スウェーデン	3 位	8 位
デンマーク	4 位	2 位
シンガポール	5 位	3 位
韓国	12 位	13 位
中国	15 位	20 位
日本	28 位	30 位

3 考察

- 日本は世界の中では、通信インフラの分野については、力を入れている分野であると考えられる。
- 先進国の中で、日本は、デジタル競争力に関しては、劣っていることが分かるが、これの一つの要因として、国や地方公共団体などが、デジタル化の政策を進めてこなかったことが挙げられる。
- また米国については、Google, Amazon, Apple, Facebook, Microsoft など, 大手有名企業が集中するため、デジタルの競争力では、総合で 1 位となっていると考えられる。

参考文献

- [1] 情報通信白書. 総務省, 2021. <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/index.html>.
- [2] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.